

平成28年度 事業計画及び収支予算

平成28年4月1日から平成29年3月31日

I. 予算の概要

平成28年度収支予算は、『収支計算書（損益ベース）推移』の通り。

1) 運用利回り

日本国債を中心とした安全運用を心がけているため基本的には低利での運用となる。昨年来の金利の下落に加え、円高や日銀のマイナス金利導入により環境は厳しさを増しているが、平成28年度は前年度並みの利回りを確保すべく計画した。

2) 寄付金収入

◇一般寄付金 26.5百万円 伊藤忠商事及びグループ会社よりの寄付金

◇指定寄付金 2.6百万円

- ・「子ども文庫助成事業」の内、シャティ活動（絵本を届ける運動）に対し1.2百万円、及び株主による、東北被災地100冊助成に対し1.4百万円を伊藤忠商事から頂き、活動・助成を継続する。

3) 財団事業

前年度と同様「子ども文庫助成事業」と「電子図書普及事業」の2事業とする。「子ども文庫助成事業」の中で昨年に引続き、東日本大震災のための被災地支援を伊藤忠商事と共に行っていく。

4) 人員体制

平成26年度より5名体制となる。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務局長	1	1	1	1
助成事業部	2	1	1	1
電子図書普及事業部	2	2	2	2
総務部	1	1	1	1
合計	6	5	5	5

注1) 平成26年度9月末、助成事業部元部長の嘱託社員退職のため1名減少

Ⅱ.事業計画

1. 子ども文庫助成事業

下記表の ①～⑧までの助成活動を行う。

(単位:百万円)

	平成27年度 見通し		平成28年度 計画	
	件数	金額	件数	金額
①子どもの本購入費助成	44	13.2	45	13.5
②病院読書支援 購入費助成	5	1.5	5	1.5
③子どもの本 100冊助成	19	2.5	22	3.3
④子ども文庫功労賞	3	1.1	2	0.7
⑤その他読書支援 シャンティ絵本を贈る活動		2.2		2.3
被災地読書支援		1.8		1.8
日本人学校等への図書助成		0.6		0.6
助成金 合計		22.9		23.7
(内、指定寄付金による助成)		(2.9)		(2.6)
贈呈式 費用		3.8		3.9
その他 事業費		11.6		12.0
人件費 (社会保険料・通勤費・退職 給付費用含む)		17.9		18.0
子ども文庫助成事業 経費合計		56.2		57.6

①子どもの本購入費助成（現金助成）

- ・対象
子ども文庫（家庭文庫、地域文庫等）又はその連合体（こども文庫連絡会等）において、子ども達の読書啓発を行っている民間団体、個人。
- ・内容
図書等の購入、充実を目的とした購入費を1件当たり 30万円助成。

②病院読書支援 購入費助成（現金助成）

- ・対象
小児病棟等で長期闘病中の子ども達や、心身障害児施設、児童養護施設等で生活している子ども達に対して読書啓発を行っている民間団体、個人。
- ・内容
子ども達が様々な障害を乗り越えて読書を楽しむための支援を目的とした図書、機器の購入費、図書作成費等を1件当たり 30万円助成。

③子どもの本 100冊助成（図書現物助成）

- ・対象
上記①、②共通

- 内容
当財団が選書した100冊の児童書セット（小学校低・中・高学年別の3種類）のうち1セットを贈呈。
平成28年度は、低学年・中学年・高学年向けセットの何れかのセットを選択する方法に加え、100冊の内40冊までを他のセットの本から選べる方法を追加し、応募数の減少に歯止めをかける計画。
予定金額 330万円（1セット当たり約15万円のセット 計 22件）

④子ども文庫功労賞

- 対象
子ども文庫あるいは児童図書館等を永年に亘り（概ね20年以上）運営されてこられた又は、子ども文庫の普及に貢献されてこられた個人。
- 内容
1名につき 35万円（5万円相当の商品、副賞30万円）
予定金額 70万円（原則2名）

⑤その他読書支援

シャンティ絵本を贈る活動

- 内容
シャンティ国際ボランティア会が行っているカンボジア、ラオス、アフガニスタンなど絵本が不足している東南アジア地域に、日本語の絵本を届ける運動。
東日本大震災の被害地の子どもたちや、伊藤忠商事の社員とともに活動に参加し、平成27年度は、980冊を贈った。平成28年度も 同程度の規模の活動を計画。

被災地読書支援

- 内容
公益社団法人全国学校図書館協議会にご協力頂き、被災地で児童書を必要としている小学校に子どもの本100冊図書セットを寄贈する。
平成27年度は、岩手・宮城・福島11の小学校に対し寄贈した。
平成28年度は、先期同様、岩手・宮城・福島の小学高への支援を計画している。

日本人学校等への図書助成

- 内容
海外の日本人学校、補習校に対し当財団が選書した「小中学生向け児童書セット（105冊）」を贈呈する。
平成27年度は、これまでの応募団体から新たに4校を選んだ。
平成28年度も同様に、引き続き支援を行う計画。

以上

2. 電子図書普及事業

平成28年度作品数と寄贈先

平成22年度に開始した本事業は、7年目を迎える。この間「わいわい文庫」として製作したのは278作品となり、平成27年度は1,016ヶ所（平成28年2月末現在）に寄贈した。平成28年度は、まず5月に約950ヶ所に配布する。平成27年度は66作品を制作したが、平成28年度は50作品を制作する計画である。

初年度（平成22年度）に製作した作品は、平成23年度に、全国の特別支援学校及び大規模都市（人口20万人以上）の公協図書館、合計1,154ヶ所に寄贈したが、受領書の返送は36%にとどまり、平成24年度の配布数は572ヶ所であった。年を重ねるごとに「わいわい文庫」への認知度も高まり、最近では一般学校や公共図書館からの寄贈希望が増加している。

配布年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
作品数	58	55	61	66
寄贈先	670	909	1016	950

平成28年度重点施策

引き続き、電子図書の制作と共に、普及のための広報・啓蒙活動に力点を置く。

●制作

- ・子どもたちの多様な興味関心に対応できる選書
- ・効率的な制作方法と業務委託内容の検討
- ・出版社や様々な団体への事業説明と協力依頼
- ・都道府県立図書館との共同作業〔日本昔話の旅〕の展開
（現在10道県作品が完成）

●広報・啓蒙

- ・わいわい文庫の活用例を記載した小冊子【わいわい文庫活用術⑤】の編集
- ・読書バリアフリー研究会の開催（全国8ヶ所を予定）
- ・障害者教育展示会や福祉機器展への参加

（単位：百万円）

	平成27年度 見通し	平成28年度 計画
制作・普及等事業費	10.8	10.2
その他 事業費	8.7	8.8
人件費	19.6	20.1
合計	39.1	39.1

平成28年度計画は、ほぼ平成27年度見通しと同額を見込む。
人件費は、社会保険料・交通費・退職給付費用を含む。

以上

収支予算書(損益ベース)

平成 28年 4月 1日から平成 29年 3月 31日まで

公益財団法人 伊藤忠記念財団

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	76,590	80,730	△ 4,140	
基本財産受取利息振替額	6,160	6,160	0	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,260	1,270	△ 10	
③ 受取寄付金				
受取寄付金	26,500	26,500	0	
受取寄付金振替額	3,100	3,000	100	
④ その他				
雑収入				
経常収益計	113,610	117,660	△ 4,050	
(2) 経常費用				
① 事業費				
①-1 子ども文庫助成事業費				
(1) 給料手当	14,200	14,200	0	
(2) 福利厚生費	2,741	2,300	441	
(3) 通勤費	701	500	201	
(4) 助成金	23,700	27,500	△ 3,800	
(5) 謝礼金	550	550	0	
(6) 贈呈式費用	3,900	5,000	△ 1,100	
(7) 旅費交通費	2,650	3,000	△ 350	
(8) 業務委託費	630	1,500	△ 870	
(9) 消耗品費	30	30	0	
(10) 印刷製本費	1,070	900	170	
(11) 什器備品費	550	0	550	
(12) 光熱給水費	140	140	0	
(13) 使用料	551	530	21	
(14) 保険料	16	5	11	
(15) 図書新聞費	20	30	△ 10	
(16) 通信費	520	550	△ 30	
(17) 賃借料	3,471	3,600	△ 129	
(18) 荷造運搬費	800	500	300	
(19) メンテナンス費	168	200	△ 32	
(20) 会議費	160	70	90	
(21) 諸会費	150	150	0	
(22) 手数料	510	550	△ 40	
(23) 雑費	50	50	0	
(24) 退職給付金	335	330	5	
(小計)	(57,613)	(62,185)	(△ 4,572)	
①-2 電子図書普及事業費				
(1) 給料手当	15,520	15,300	220	
(2) 福利厚生費	2,996	2,600	396	
(3) 通勤費	540	550	△ 10	
(4) 謝礼金	1,680	1,480	200	
(5) 旅費交通費	2,450	2,380	70	
(6) 業務委託費	1,700	2,200	△ 500	
(7) 消耗品費	3,600	2,700	900	
(8) 印刷製本費	1,450	950	500	
(9) 什器備品費	800	1,000	△ 200	
(10) 光熱給水費	310	270	40	
(11) 使用料	603	550	53	
(12) 保険料	16	5	11	
(13) 図書新聞費	300	240	60	
(14) 通信費	930	850	80	
(15) 賃借料	3,819	3,300	519	
(16) メンテナンス費	186	175	11	
(17) 会議費	300	220	80	
(18) 諸会費	200	200	0	

(19) 手数料	560	500	60	
(20) 雑費	80	80	0	
(21) 退職給付金	1,052	975	77	
(小計)	(39,092)	(36,525)	(2,567)	
(事業費計)	(96,705)	(98,710)	(Δ 2,005)	
② 管理費				
(1) 役員報酬	3,000	3,050	Δ 50	
(2) 給料手当	5,370	6,100	Δ 730	
(3) 福利厚生費	1,037	660	377	
(4) 通勤費	208	200	8	
(5) 謝礼金	33	50	Δ 17	
(6) 旅費交通費	30	50	Δ 20	
(7) 業務委託費	220	250	Δ 30	
(8) 消耗品費	15	15	0	
(9) 印刷製本費	200	400	Δ 200	
(10) 什器備品費	500	1,000	Δ 500	
(11) 光熱給水費	53	70	Δ 17	
(12) 使用料	215	300	Δ 85	
(13) 保険料	10	10	0	
(14) 図書新聞費	30	30	0	
(15) 文具費	50	60	Δ 10	
(16) 広告宣伝費	35	35	0	
(17) 通信費	350	350	0	
(18) 賃借料	1,389	1,900	Δ 511	
(19) メンテナンス費	164	110	54	
(20) 会議費	600	600	0	
(21) 諸会費	192	200	Δ 8	
(22) 手数料	205	300	Δ 95	
(23) 租税公課	5	5	0	
(24) 雑費	150	200	Δ 50	
(25) 退職給付金	143	130	13	
(26) 役員退職給付金	1,300	1,300	0	
(27) 減価償却費	602	670	Δ 68	
(小計)	(16,106)	(18,045)	(Δ 1,939)	
経常費用計	112,811	116,755	Δ 3,944	
評価損益等調整前当期経常増減額	799	905	Δ 106	
評価損益等				
有価証券償還損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	799	905	Δ 106	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	799	905	Δ 106	
一般正味財産期首残高	4,195,075	4,194,170	905	
一般正味財産期末残高	4,195,874	4,195,075	799	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金(指)				
受取寄付金(指)	2,600	2,500	100	
基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,160	6,160	0	
一般正味財産への振替額				
特定資産取崩額	Δ 3,100	Δ 3,000	Δ 100	
基本財産受取利息	Δ 6,160	Δ 6,160	0	
当期指定正味財産増減額	Δ 500	Δ 500	0	
指定正味財産期首残高	332,897	333,830	Δ 933	
指定正味財産期末残高	332,397	332,897	Δ 500	
III 正味財産期末残高	4,528,271	4,527,972	299	